

トリンボロ

学校だより 令和5年度第十一号(通巻四八二号)



自主・気魄・根性

発行
令和6年3月22日
薩摩川内市立里中学校
薩摩川内市里町里3377
Tel.09969-3-2002
責任者
校長 柿元 真一

三年生 卒業おめでとうございます

令和5年度 里中学校卒業式が無事に行われました。十名の三年生が立派な足跡を残して里中学校を卒業し、それぞれのめざす新しい道へと巣立っていかれました。皆さんの前途に「幸多かれ」と願っています。三年生に対するこれまでのご支援、ありがとうございました。引き続き、中学校へのご支援をよろしくお願いいたします。

校長 柿元 真一

三年生の皆さんは「こえる」を生徒会スローガンに掲げ、学年の壁を超えて互いに新しい風を吹かせながら、今までの自分たちを超えることができる学校にしたいという思い、考え、行動していくという発想のもと、様々な活動に取り組みできました。生徒集会の企画、よく実施していたと思います。そして遠泳大会、運動会や文化祭等の学校行事、いずれの行事でも、立派に三年生としての責務を果たしてくれました。さらに、このような様々な活動を通して、みんなで高め合っていくこと、相手を思いやること、郷土里中学校を愛すること、の大切さを在校生に伝えてくれた卒業生でした。

これから君たちは新しい環境に出て行くわけですが、この素晴らしい学び舎で過ごした日々を忘れないでください。そして、地域の方々が、ここ里中学校区の自然や文化、伝統をどれだけ愛して受け継いできたかということも、忘れないでください。

これから進学する学校には、今までとはまた違う新しい世界が広がっています。その中で、切磋琢磨し合える良き仲間をつくり、一層努力されんことを期待します。誰かと比べるのではなく、自分のよさを大切にし、自分や周りのためにできることを真剣に考え、未来へつなげていきましょう。

卒業の未来へのはなむけの言葉として、みなさん、「夢を叶える」とは、どのようなことだと思いますか。作家の吉本ばななさんは小説の中で、次のように書いてあります。「夢を叶える」何と言っても、毎日ほとんども地味なものだ。毎日はそのような細かいことにひたすら追われるだけだ。それはつまり「夢を叶える」と世間で言われていることの全貌だった」と。つまり、「自分の夢を実現する」ということは「毎日、地道にコツコツと、今ある現実に向き合って、一歩ずつ努力を積み重ねることしかない、本当に地味なものがある」ということです。地味な作業の向こうにあるものが、「夢」そのものなのです。

実は、皆さんが、真面目に、真剣に取り組むが故に迷うことが生まれ、何かに悩むことが出てくるのです。それは人生の中では、当然の結果なのです。芸術家の岡本太郎さんは、「自分はあれこれ迷ったら、必ず自分にとってマイナスだな。危険だから、安心や安全の方を選んできた。人間は誰でも弱いが、自分が大事だから、安心や安全の方に逃げたがる。でも、迷って答えが出ないときは、危険な道の方が、本当の自分が行きたい道なんだ、と考えることにしている」と言っています。いわゆる、苦勞や危険なことは自分から買ってでも挑戦しろ、ということなのです。

「夢を叶える」とは、「地道な毎日の積み重ねと苦勞の結晶」でしかあり得ない。また、岡本太郎さんが言うがごとく、人間誰しもが、迷い、悩みながら、それを乗り越えてからこそ「夢が叶う」のです。

皆さんも、これから、毎日が地味で、不安で、迷うことが多いかと思いません。でも果敢にチャレンジしてください。家族や友人や先輩方が皆さんの応援をしてくれます。義務教育を終えた、これからが本当の人生の始まりです。

1, 2年学級PTAへの御参加ありがとうございました

2月21日に今年度最後となるPTAがあり、担任から1年間で成長したことや保護者からのひとことで和やかな会でした。また、来年度実施の修学旅行や進路に関する話なども話題にあがり、皆さんの保護者の皆様に来校していただき有意義な会になりました。



おめでとう

- ★ 第8回南さつ市「日新公いろは歌」短歌大会
特選 中尾花凜 佳作 野口愛翔
- ★ 令和5年度明るい選挙啓発習字コンクール
薩摩川内市選挙管理委員会委員長賞 日笠山千里
入選 石原桜羽 後藤大昇 中尾花凜
西 七海 馬場瑛大 馬場 望
若松芯音 脇田隆雅

入学式のお知らせ

来年度より鹿島小学校の子供達も迎え、下記の日程で行います。入場制限もありませんので、御家族、御親族お誘い合わせの上、御出席をお待ちしております。

月日 4月8日(月)
時間 14時00分～14時40分(受付13:35～)
場所 里中学校体育館

4月の行事

- 8日(月) 新任式・始業式・入学式
- 9日(木) 身体測定
- 10日(月) PTA専門部会・理事会
- 11日(木) 標準学力検査(～12)
- 12日(金) 知能検査・生徒会対面式
- 16日(火) 交通安全教室・教育相談週間(～24)
- 17日(水) 3年全国学調質問紙、PTA総会
- 18日(木) 3年全国学力学習状況調査(国・数)
避難訓練(不審者対応)
- 25日(木) 生徒総会

鹿児島学習定着度調査の結果

今年1月に中学1,2年生を対象に行われた「鹿児島学習定着度調査」の結果についてお知らせします。日頃の学習の成果も表れて、ほとんどの教科で県平均を上回っていました。今後、特に通過率の低い問題はやり直しをするなどして補充指導をしたり、類似問題にも取り組ませたりしながら、学力の定着を図っていきます。

また、結果をもとに職員研修を行い、以下のような課題と解決策が出されました。

【課題と解決策】

- 問題に向かう際の注意力、読解力の不足。
→時間を区切るなどの集中力を鍛える。
- 目的・目標に向けて自ら動き出す力の不足。
→(勉強を含めて)子供自身が興味をもつものを知るような指導の充実や語りかけなどの取組や小テスト等での成功体験を積み重ねさせる。
- 家庭での長時間のインターネットの使用。
→家庭学習の課題の工夫。自ら学習に向かう態度の育成。

	【県と本校との比較】				
	◎	○	>県均	>△	>▲
	5P以上 0 -5P以下				
	国語	社会	数学	理科	英語
1年	○	◎	○	◎	○
2年	◎	◎	△	◎	○

甑の魚で3枚おろしに挑戦

1,2年生が家庭科の調理学習の中で魚の3枚おろしに挑戦しました。日笠山実さんの実演のあと、甑島産の地魚メジナやアコウを悪戦苦闘しながら捌き、ムニエルにしておいしくいただきました。



22代目焼酎「島立ち」完成

2・3年生がラベル貼りなど丁寧に行い、今年度も無事に「島立ち」が出来ました。塩田酒造様、芋づくり協力員の方々、準会員の皆様に感謝します。



10名の卒業生が巣立ちました

3月12日、多くの来賓の方々、保護者、在校生の見守る中、第77回卒業式が挙行されました。卒業生への感謝の思いをもち、在校生が一生懸命命場の準備をしました。

卒業生10名は、晴れやかな表情で学校長から卒業証書を受け取り、まっすぐなまなざしで話を聴く姿から3年間の中学校生活での充実感と、「島立ち」に向け希望に満ちあふれた表情をしていました。式の中では、長井PTA会長からの温かい励ましの言葉がありました。送辞では、お世話になった先輩方への感謝の気持ちと、卒業生への感謝の思いと先輩から引き継いで里中学校をさらに良い学校にしていきたいという決意が述べられました。答辞では、仲間との関わりを大切に、前向きに生活した3年間を振り返るとともに、家族への感謝の気持ちや、これからの決意が述べられました。卒業生10名のみなさん、これまで里中のためにありがとう。そして、それぞれの道へ自信をもって歩んでください。

卒業



離島をつなぐオンライン学習

国語科の授業で、徳之島の井之川中学校と屋久島の安房中とオンラインでつなぎ、お互いに本や島の紹介を通して交流学習を実施しました。「初対面の人達とも親しく話せた。他校の雰囲気の良さも伝わってきた。」と感想を話しました。



西側校門が快適に

(株)塩田建設様から西門の外構工事をボランティア事業の一環で、していただきました。コンクリートの塊も取り除かれ、西門付近が有効に活用出来そうです。ありがとうございました。

